

今年も福祉事業の充実

市では「豊かな福祉のまちづくり」を進めるため各種事業を実施しています。今年度は、心身障害者に職業訓練と生活指導を行う「白沢ミニ通所センター」の開設や重度心身障害者にタクシー券の交付、七十歳以上の方には鍼灸、灸、マッサージ券の交付、そして二井田保育所の改築など福祉の充実に積極的に取り組んでいます。

重度心身障害者に タクシー券を交付

市では、昭和59年から在宅の重度心身障害者へ「タクシー券交付制度」を行っています。これは、心身障害者の社会参加を促すために実施している制度で、61年度はおよそ1000人の利用がありました。今年度からは1人年4回から2回増して6回にしましたので、どうぞご利用ください。

- 対象・在宅の重度心身障害者で身体障害者手帳(3級以上)または療育手帳(A)の交付を受けている方
- 交付数・年6枚(基本料金のみ)
- 持ち物・身体障害者手帳または療育手帳、印鑑
- 申込先・福祉事務所福祉係
(内線209)



心身障害者に 職業訓練と生活指導 白沢ミニ通所 センターがオープン

市では、心身の障害により、雇用されることが困難な方を対象として、労働を通して技能習得訓練や生活指導を行う小規模授産施設「白沢ミニ通所センター」を四月一日にオープンしました。

同センターは、市から社会福祉

法人大館圏域ふくし会へ運営委託して開設したもので、元白沢営林署長官舎を一部改築し作業場としたものです。現在、市内の中学校を今年卒業した五人の方たちが、プラスチック部品加工や木工用教材の袋詰めなどの作業を午前八時五十分から午後三時五十分まで行っています。

作業を指導している方は二人で、仕事の段取りの指導や作業の確認や生活指導を行っています。指導員の方は、「今作業している子供たちは、まだ緊張しているようですが、仕事に慣れようとして一生懸命です。この子供たちができるだけ早く社会参加できるようにがんばりたい」と話していました。

同センターでは、大館市内に在住の方で入所希望の方、作業を委託される業者を受け付けていますので、福祉事務所福祉係か白沢



保育所の充実

二井田保育所を 改築

市では、老朽化している保育所を順次改築していますが、今年度は二井田保育所を改築することにしました。

新しい保育所は、現保育所の向かい側に建設され、総工費一億三千四百三十八万円、木造平家建てとなっており、今年十二月完成を目度に行工事が行われます。

通園センター(☎4613775)へご相談ください。

70歳以上の方へ 鍼灸、マッサージ に補助

市では、七十歳以上の方が、市内で鍼灸、マッサージを受けられる場合にその費用の一部を補助しています。この制度は、五十五年度から始まったもので年平均五十人ほどの方が利用しています。

補助する額
一回につき五百円分、年四回まで利用できる所

市内の鍼灸マッサージ師会(二十三カ所)に限りです。
▽施術券の申請
保険年金課福祉医療係へ、印鑑、老人保険証を持参してください。

(内線242)

市長の対話ノート

規範

「重厚長大」から「軽薄短小」へ、そして「美意識」の時代だといえます。旧人類にはわからない新人類の時代ともいえます。

確かに経済も世代も変わりつつありますが、だから何もかも変わってよいものではないと思います。特に人間としての規範はそうではありません。

「真実か」——真実は一つしかありません。すぐわかるウソを言葉だけ一人歩きさせる事は洋の東西を問わず許されません。

「不公平でないか」——人間の生命は地球よりも重いといわれるように、常に公平、公正でなければなりません。それなのに、地位や権力を乱用し、奇弁を用いて不公平を公平化しようとする見苦しさには余りありません。

「平和のために」——生産の伴わない経済活動はいかにムダかはだれもが知っています。そのムダを知つつも平和の敵を容認することは気違いといわなければなりません。

「社会のために」——人間は一人では生活出来ません。社会のために尽くしてこそ自分も社会の恩恵が受けられるものです。

社会が、経済が、そして世代がどう変化しても、この人間規範は不動であらなければなりませんし、これを踏みはずしてはならないと信じます。

佐々木健治



No.151

「とびだすな」ぼくたちみんなの 合言葉。 新入学児童を交通事故から守りましょう。